

テーマ：貿易統計（2013年5月）

発表日：2013年6月19日（水）

～輸出は持ち直しの動きが継続。先行きは円安効果の浸透に期待～

第一生命経済研究所 経済調査部  
担当 エコノミスト 大塚 崇広  
TEL：03-5221-4525

|    | 貿易収支(億円)  |        |       |      | 輸出数量  |       |       |       |      |       | 輸入数量        |      |  |
|----|-----------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------------|------|--|
|    | 原数値       | 季調値    | 金額    |      | アメリカ  |       |       | EU    | アジア  |       | アメリカ EU アジア |      |  |
|    |           |        | 前年比   | 前年比  | 前年比   | 前年比   | 前年比   | 前年比   | 前年比  | 前年比   | 前年比         | 前年比  |  |
| 12 | 1月 ▲14907 | ▲5159  | ▲9.2  | 9.8  | ▲10.1 | 0.1   | ▲9.8  | ▲14.9 | 3.2  | 7.7   | 4.2         | 2.9  |  |
|    | 2月 ▲259   | ▲2565  | ▲2.6  | 9.4  | ▲3.8  | 14.8  | ▲11.4 | ▲8.0  | 3.3  | 5.0   | 11.0        | ▲0.4 |  |
|    | 3月 ▲818   | ▲5739  | 5.9   | 10.5 | 3.6   | 20.1  | ▲11.1 | ▲2.1  | 3.2  | 14.1  | 14.8        | ▲1.5 |  |
|    | 4月 ▲5184  | ▲4337  | 7.9   | 8.0  | 4.7   | 37.4  | ▲5.3  | ▲4.2  | 1.9  | 7.7   | ▲4.3        | ▲3.7 |  |
|    | 5月 ▲9079  | ▲5757  | 10.0  | 9.3  | 9.3   | 39.6  | 1.0   | 2.7   | 8.5  | 5.4   | 9.6         | 6.6  |  |
|    | 6月 ▲561   | ▲3683  | ▲2.3  | ▲2.2 | ▲2.4  | 10.8  | ▲18.6 | ▲4.2  | ▲0.5 | 9.2   | 1.9         | ▲5.2 |  |
|    | 7月 ▲5286  | ▲4200  | ▲8.1  | 2.3  | ▲10.3 | 0.9   | ▲23.5 | ▲9.6  | 7.1  | 19.5  | 10.1        | 3.2  |  |
|    | 8月 ▲7684  | ▲5343  | ▲5.8  | ▲5.2 | ▲4.3  | 12.3  | ▲19.2 | ▲6.3  | ▲2.1 | 3.2   | ▲2.8        | ▲7.4 |  |
|    | 9月 ▲5682  | ▲10071 | ▲10.3 | 4.2  | ▲11.1 | ▲0.6  | ▲20.7 | ▲10.0 | 4.3  | 13.7  | ▲4.6        | ▲1.8 |  |
|    | 10月 ▲5562 | ▲5334  | ▲6.5  | ▲1.5 | ▲8.1  | 2.4   | ▲24.4 | ▲6.6  | ▲1.0 | ▲3.1  | 2.1         | 2.4  |  |
|    | 11月 ▲9570 | ▲8749  | ▲4.1  | 0.9  | ▲7.5  | ▲0.3  | ▲18.7 | ▲4.1  | ▲0.9 | ▲14.2 | ▲3.5        | 3.2  |  |
|    | 12月 ▲6457 | ▲7654  | ▲5.8  | 1.9  | ▲12.2 | ▲9.8  | ▲15.7 | ▲8.2  | 0.0  | ▲8.3  | ▲6.7        | 1.1  |  |
| 13 | 1月 ▲16335 | ▲7223  | 6.3   | 7.1  | ▲5.9  | 0.7   | ▲16.0 | ▲0.2  | ▲1.1 | ▲8.5  | ▲1.9        | ▲3.7 |  |
|    | 2月 ▲7813  | ▲10741 | ▲2.9  | 12.0 | ▲15.8 | ▲14.8 | ▲23.7 | ▲14.6 | ▲0.1 | ▲17.6 | ▲4.2        | 2.6  |  |
|    | 3月 ▲3669  | ▲8934  | 1.1   | 5.6  | ▲9.8  | ▲10.5 | ▲16.4 | ▲7.7  | ▲5.5 | ▲21.0 | ▲0.7        | ▲7.2 |  |
|    | 4月 ▲8819  | ▲7028  | 3.8   | 9.5  | ▲5.3  | 4.5   | ▲12.6 | ▲5.0  | 2.0  | ▲15.7 | 8.3         | 4.8  |  |
|    | 5月 ▲9939  | ▲8210  | 10.1  | 10.0 | ▲4.8  | ▲8.6  | ▲17.9 | ▲1.7  | ▲2.4 | ▲13.1 | ▲0.8        | ▲3.7 |  |

(出所)財務省「貿易統計」

## ○輸出は緩慢ながらも持ち直しの動きが継続

財務省より発表された2013年5月の貿易統計では、輸出金額が前年比+10.1%、輸入金額が同+10.0%、貿易収支は9,939億円の赤字となった。市場予想対比で輸出が上振れ、輸入がやや下振れたため、貿易赤字額は事前予想よりも小さかった。また、季節調整値でみると輸出金額が前月比+3.2%、輸入金額が同+4.7%、貿易収支額は8,210億円の赤字であった。貿易赤字は前月から拡大し、高水準の赤字が継続している。

物価変動の影響を除いた実質輸出（季節調整値）は前月比▲0.2%（実質化と季節調整は第一生命経済研究所）と減少した。ただし、基調としては持ち直しの動きが続いているものとみられる。地域別にみると、欧州経済の弱さを背景にEU向け（同▲6.5%）が減少した。米国向け（同▲2.9%）も減少したものの、前月の高い伸び（同+3.5%）の反動とみられ、米景気の底堅さや円安を追い風に好調さは続いているものとみられる。また、中国向けは同+3.6%と増加した。中国向けの内訳をみると、輸送用機器（同+2.3%）の増加が続いており、日中関係悪化による影響の緩和が継続している。ウェイトの大きい一般機械（同+9.9%）や電気機器（同+4.1%）も増加しており、持ち直しの兆しが窺える。

このように、欧州向けの弱さが目立ったものの、米国向けの好調さや中国向けの持ち直しの動きを考慮すれば、輸出は緩慢ながらも改善の動きが継続していると判断できよう。特に、これまで輸出増加の足かせとなっていた中国向けに持ち直しの兆しが窺えたことは好材料である。

## ○貿易赤字の拡大圧力は和らぎつつある

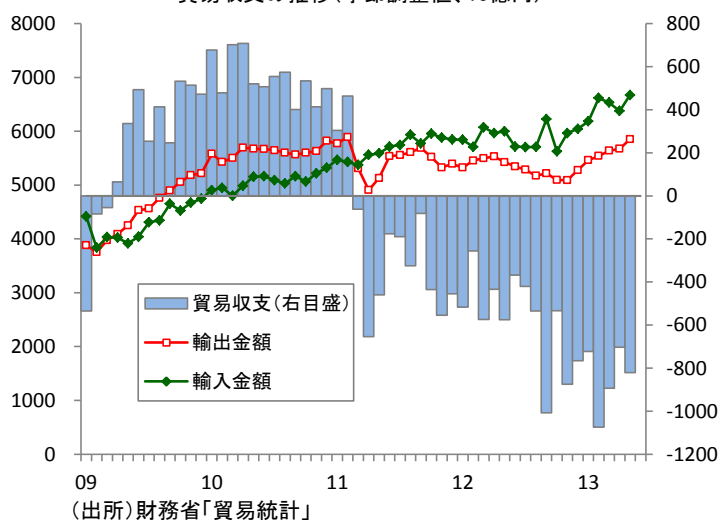
5月の貿易収支は原数値で9,939億円の赤字、季節調整値で8,210億円の赤字となった。赤字幅は前月から拡大したものの、均してみればこのところは一段の赤字拡大に歯止めがかかっている。円安による輸入価格の押し上げが貿易赤字の拡大圧力となりつつも、数量面での変化が一段の赤字拡大を抑制している。その数量面の動向をみると、実質輸出は上述のように持ち直しの動きが継続している。また、実質輸入もこのと

ころは増加に一服感があり、円安により輸入品が割高となったことで輸入量が抑制されている可能性がある。

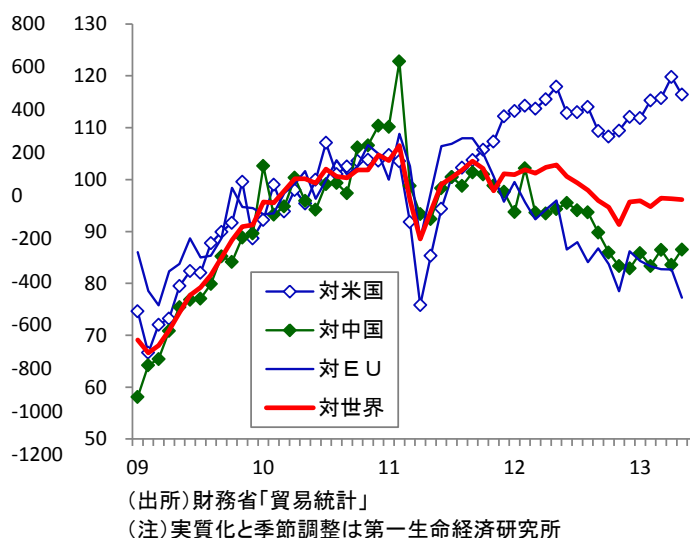
## ○ 先行きは円安の輸出押し上げ効果の浸透に期待

輸出の持ち直しは今後明確化するものとみている。①海外経済の回復と②円安効果の浸透がその背景だ。足元では契約通貨ベースの輸出物価が4月に大きく下落するなど、円安による輸出押し上げ効果が広がり始めた様子が窺える。輸出物価（契約通貨ベース）の下落は、輸出企業が円安による収益の改善を受けて値下げ攻勢に打って出る体制を整えたことを示唆している。こうした値下げの動きは、海外市場での価格競争力の向上を通じて、輸出量の押し上げに繋がろう。海外経済の回復には中国経済の足取りの鈍さや米国における強制歳出削減の影響など下振れリスクがあるものの、こうした円安効果が浸透していくことで輸出の持ち直しは今後明確化する可能性が高い。

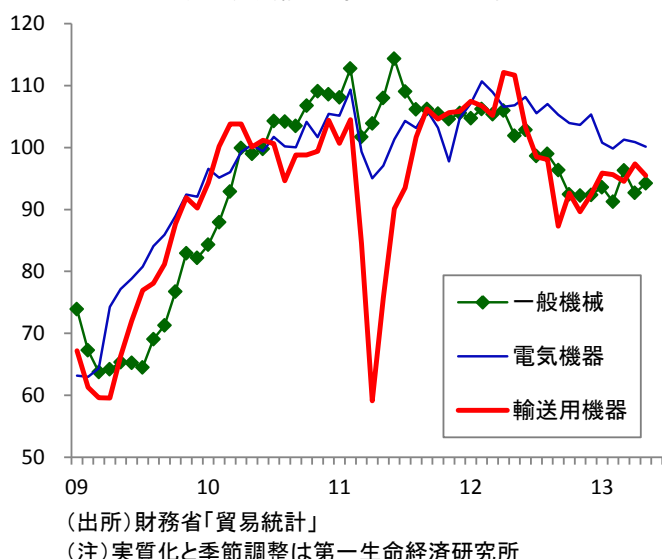
貿易収支の推移(季節調整値、10億円)



(10年=100) 地域別実質輸出(季節調整値)の推移



(10年=100) 財別実質輸出(季節調整値)の推移



(10年=100) 中国向け実質輸出(季節調整値)の推移

